市政ニュース

議会の閉会にあたり、市長は七月から九月までの市政の経過と現状を次のように報告しました。

市議会

姉妹都市

宮城県岩沼市との姉妹都市提携二十周年を契機に姉妹都市親善協会を設立したところ、団体会員九十団体、個人会員二百八人の賛同を得、各種記念事業に取り組んできました。

八月十三日から十六日までの四日間は、まほろば祭り参加、市内施設見学、シニア交歓野球などで交流を深めました。

十月十六日から十八日には、岩沼市で開かれるふるさと祭りへの物産展開設や青年交流などを中心に多くの市民が参加し、さらに交流を深める予定です。

本年度の記念すべき交流体験を教訓に行政主導の派遣交流ではなく、市民の自主的、主体的な交流を中心とした息の長い両市の交流、き千なを深めていきます。

地方拠点都市

八月三十一日、基本計画のなかの南国市関係の事業推進を目的とし、「南国市地方拠点都市事業推進協議会」が発足しました。

各種民間団体を中心に、官民総包みの体制で事業の円滑な推進を目指していきます。

また、基本計画の円滑な推進を図ることを目的とした拠点都市地域全体の官民一体組織「なんごく・こうち地方拠点都市地域事業推進協議会」も設置されました。

空港拡張

高知空港の再拡張事業については、六月、地元地権者組織である高知空港再拡張対策協議会と県、市が事業実施に向けての基本的事項について確認書に調印。その後、県は用地費の予算化を含めて、平成六年度からの事業化を国に要望してきました。

このほどの運輸省の発表は実施設計調査費九千万円を明年度概算要求に盛り込み、県は新規事業採択をより確実にするため、年末の予算折衝に向けて積極的に要望していくこととしています。

都市計画

後免町市街地再開発事業については、準備組合の発注により各戸の資産評価実態調査を実施し、地元の総資産の調査作業を進めています。また、再開発ビルなど街並みづくりについては、地域住民の納得のできる計画の作成を目指して構想の検討を進めています。

後免町を中心とする市街化区域、および吉岡山区域が国土利用計画法に基づく監視区域として県知事指定されました。

現在、本市の地価は、おおむね安定的に推移していますが、地方拠点都市整備法による拠点地区の事業が本格化するにつれ、地価上昇の可能性も否定できません。本制度を活用することにより、便乗的な投機的土地取引を未然に抑制し、不当な地価の高騰が起こることのないよう監視していきます。

土木建設事業

道路改良及び新設工事を計画していました緊急道路整備廿枝三畠線他三線については進捗率は四〇%で、年度内の完成を目指しています。

河川改修事業として計画の準用河川小籠川他二線の国庫補助事業については、沿線の耕作田の用排水等の問題から、現在未発注でありますが、年度内の完成に向け全力を傾注していきます。

九月定例

防災対策

本市では、昭和五十五年に地域防災計画を作成していますが、市の情勢の変貌のなか、この度、南国市防災会議で、現計画を修正しました。

ヨごろの防災に関する諸施策は、この計画により、災害発生時における応急対策や動員に当たっては、迅速確実な実施体制で対応し、万全を期していきます。

農林水産業

ほ場整備については、岩村地区では、平成六年度事業実施に向け、関連する一般農道の新設、王子川改修計画などについて、県とともに、国に対し同時採択を求め積極的に取り組んでいます。

浜改田を中心とした南国南部地区では、専任体制を強化し地元気運を一挙に高めることにより、同意形成を目指します。

久礼田、十市地区でも、地元や推進委員会において説明を行っており、事業申請のための準備を進めています。

浜改田池区の農業集落排水事業については、すでに九〇%の同意を得ており、さらに百パーセントの同意を目指して取り組んでいます。

商工観光

通産省のオフィス・アルカディア、産業業務施設再配置促進事業については、地域振興整備公団の事業実施に向け全力で取り組んでいます。現在、ほとんどの地権者から測量同意を得ており、近々測量調査に入る予定です。

高知オシオの第二棟巨工場については、予定通り八月五日竣工しました。約二百五十人の雇用が見込まれ、来巨の本格稼働に向けた準備が進められています。

県の主要施策の物流拠点整備事業については、実施計画に向け関係機関と最終的な調整に入っています。

環境整備

し尿処理施設建設事業については、年内着工を目指して工事を発注しました。多大な財政負担の伴う事業であるため、2年半後の竣工へ向け慎重に推進していきます。

最終処分場については、財政事情から新設計画を調整し、引き続き地元の理解を得ながら現施設の延命に努めていきます。

保健福祉

保健福祉センターでは、市民一人ひとりが楽しみながら健康づくりができる活動の場として、従来の各種保健事業を有機的に結び付け、その推進を図りつつ、医療、福祉の分野との連携に努めるなど、積極的に取組んでいます。

教育行政

生涯学習まちづくり推進事業の一環として取り組んでいる「人材バンク」については、現在、九十四人が登録されています。

その内訳は、教育一般部門十九人、人文社会科部門六人、自然科学部門四人、芸術文化部門四十人、体育スポーツレクリエーション部門十人、家庭生活・趣味部門十四人、市民生活・国際関係部門一人となっています。

今後は、現在登録のない産業技術部門を中心により一層の登録を呼び掛けます。

財政

本年度の一般会計は、主要な財源である普通交付税が前年度に比べ七、六%し、金額にして三億二百九十七万四千円の減となっています。

基準財政需要額は、前年並ですが、税収の伸びにより基準財政収入額が、六、六%伸びたことが影響したものです。

なお、交付税につきましては、国民健康保険財政の健全化を図るための支援策として、本年度より事務費負担金等が算入されるなど一般財源化され、また、ふるさとづくり基金・地域福祉基金の積立金のように使途が指定されたものも含まれています。

おわびと訂正

六月定例市議会での「南国市産業物処理および清掃に関する条例」については提案されておりませんでした。おわびして訂正します。

町名と区域が変わります

住居表示整備事業に伴う字の区域変更および名称の変更について（公告）

平成五年度住居表示整備事業を行う南国市東崎、野中の一部について、次の名称で町を新設し、字を変更することになりました。実施時期は平成六年二月一日を目標としています。

つきましては、本案について異議がある場合は、政令の定めるところにより、市長に対し、本件公告の日から三十日を経過する日までに市議会議員および市長の選挙権を有する五十人以上の連署をもって理由を附して本案に対する変更の請求をすることができます。

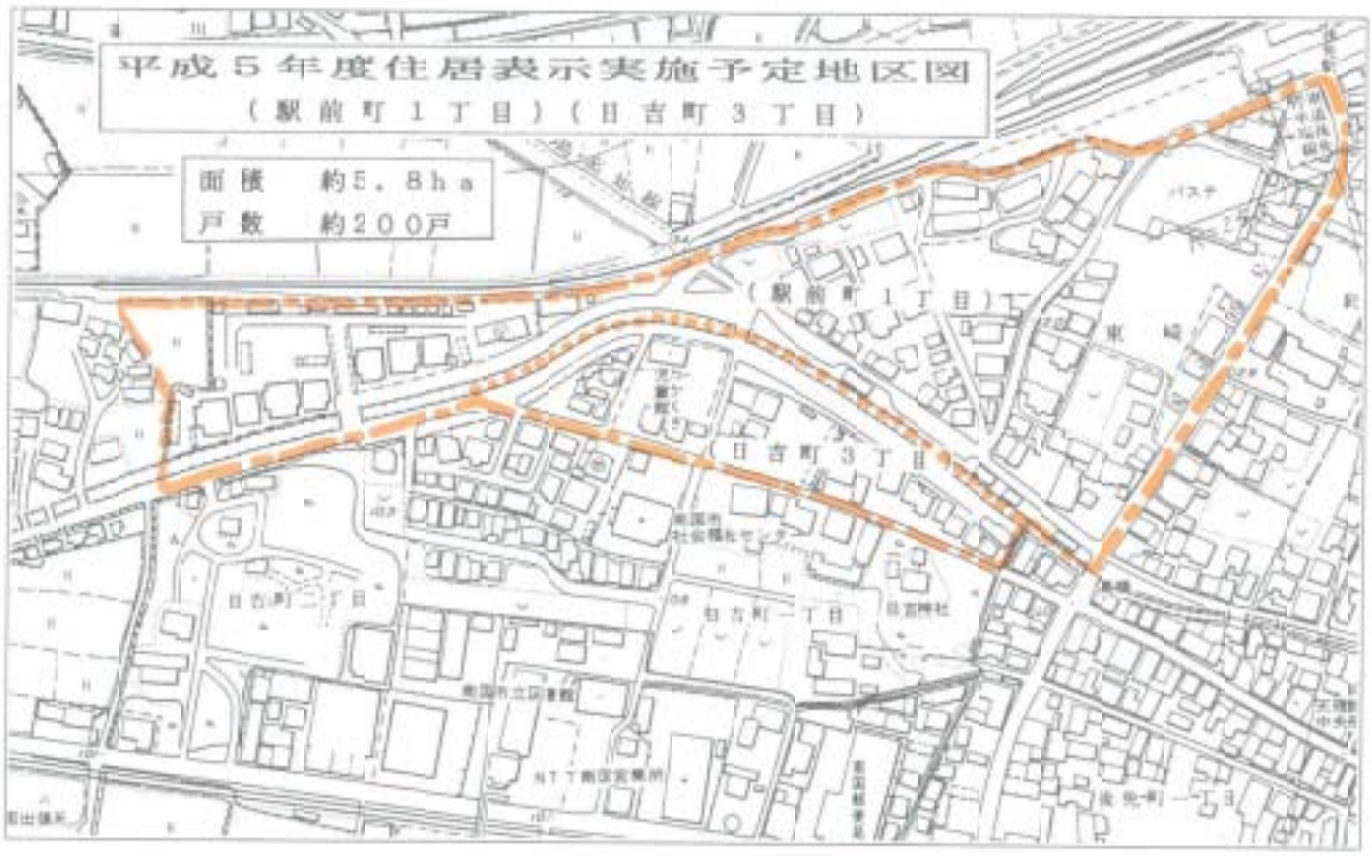
以上、住居表示に関する法律第五条の二の規定により公告いたします。

※町を新設する区域の名称

駅前町一丁目
日吉町三丁目

平成五年十月一日
起案者　南国市

※お問い合わせは南国市都市計画課（☎市役所内線223）まで



育児は育自⑥

すてきなお父さんみーつけた

南国市家庭教育学級専任講師
竹内富二枝

昔から、生き馬の目を抜くといわれてきた東京、JR中央線の満員電車でのできごとです。

お茶の水駅から七十歳過ぎの老夫婦が乗りこんできました。席を譲らなければと思ったとたん、目の前に立っていた若い男性が、座席にいる二人の男の子に「替わってあげな」と声をかけました。子供たちはすぐ立って、「どうぞ、どうぞ」。一人は四、五歳くらい、兄らしい子は小学一年生とバッグに記してありました。「まあまあ、すみませんねえ、いいの？」相手が幼い子供であることに少しちゅうちょする老夫婦に、父親らしいその男性は「大丈夫ですよ」と手をとって席につかせました。「新宿までだから頑張ろうね。こんなとき平衡感覚を鍛えるんだよ」兄弟に両側からズボンをつかませ、電車のゆれを親子で楽しみながら、やがて新宿駅につきました。「ありがとう、ぼうやたち、ほんとうにありがとう」何度も頭をさげる老夫婦に、「バイバイ」と手を振る子供たちの笑顔がとてもさわやかでした。

人と人とのふれあいの中で、自己中心性を排除し、人へのやさしさをサラッと表現できる若いお父さんを、世知辛い東京で見つけたことに少なからず感動を覚えました。

《社会教育課》